

大会名称: **第48回関東中学校バスケットボール大会**

開催場所: **ALSOKぐんまアリーナ Aコート**

試合区分: **No. 135 男子 準決勝**

コミッショナー: **五味 亮 細木 恵臣**

期 日: **2018(H30)年8月9日 (木)**

主審: **CC 平原 勇次**

開始時間: **11:15**

副審: **U1 小澤 朋克 U2 佐藤 優樹**

終了時間: **12:25**

実践学園							○		29 -1st- 8 23 -2nd- 5 10 -3rd- 14 11 -4th- 6 -OT1- -OT2- -OT3-					●		日大豊山				
(東京)							73							33		(東京)				
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F					
4	*	新井 翔太	15	3	3	0	0	4	*	黒瀬 唯斗	12	2	2	2	1					
5		高橋 記紹	4	0	2	0	1	5		大島 拓海	0	0	0	0	2					
6	*	宮田 滯	10	2	2	0	1	6	*	斉藤 智矢	3	0	1	1	2					
7		齊藤 翔吾	-	-	-	-	-	7		新井 大悟	-	-	-	-	-					
8		福地 泰亮	4	0	2	0	2	8	*	井出野晃輝	2	0	1	0	3					
9	*	冢永 淳之介	15	0	7	1	1	9		安田 海心	2	0	1	0	2					
10	*	山本 真	10	0	3	4	0	10		林 祐輔	0	0	0	0	1					
11	*	内山 幸紀	6	0	3	0	3	11		横川 陸	0	0	0	0	0					
12		白崎 晃生	0	0	0	0	0	12	*	篠田 陽也	4	0	2	0	1					
13		岡田 新	-	-	-	-	-	13		笹本 健二郎	8	0	3	2	1					
14		竹田 光騎	-	-	-	-	-	14	*	藤本 滉永	2	0	0	2	4					
15		堀内 星河	2	0	1	0	1	15		河上 青	0	0	0	0	1					
16		テープス 流河	3	0	1	1	0	16		石上 春城	0	0	0	0	0					
17		大石 凌仁郎	4	0	2	0	1	17		武藤 優輝	0	0	0	0	0					
18		榮田 敏久	0	0	0	0	1	18		佐藤 奨真	0	0	0	0	0					
コーチ		森 圭司					0	コーチ		岡田 義弘					0					
合計			73	5	26	6	11	合計			33	2	10	7	18					

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

関東大会準決勝、日大豊山と実践学園の東京都代表同士の対戦。両チーム、ハーフコートマンツーマンDefでスタート。立ち上がり、実践学園は#10のインサイドプレーや#6、#11のドライブで連続得点し、主導権を握る。日大豊山は、#4を中心にゲームを運ぶ。その後も実践学園がドライブとリバウンドシュートを決め、流れをつかむ。日大豊山は#4が奮闘し、3P、ドライブで応戦するが、29-8実践学園リードで第1Pを終える。

第2P、反撃のきっかけをつかみたい日大豊山は#4にボールを集め、アイソレーションをかけて攻撃を展開する。一方、実践学園はDefをオールコートに変えプレッシャーをかけボールを奪う。#9のドライブ、#10のリバウンドシュート、#6の3Pなどで得点し、13-52で実践学園が大きくリードして前半終了。

第3P、反撃の糸口をつかみたい日大豊山は、ボールを回してチームOffで攻め手を探る。ドライブからの合わせで6得点し、その後もOffに変化をつけ、リズムをつかもうとする。しかし、その間も実践学園#9、#15のドライブが決まり勝負を決定づける。27-62で第3P終了。

第4P、両チームメンバーを入れ替えてのスタート。日大豊山は、一矢報いようとするが、実践学園のDefの前に点差は縮まらない。実践学園は、果敢にリングにアタックし続け、さらに突き放す。33-73、実践学園が持ち味を出し6年連続で決勝進出を決めた。点差は開いたが、激戦を立て続けに勝ち抜き、疲労の残る中で見せた日大豊山の高い技術も見事であった。